

北九州工業高等専門学校「学修の指針」

アドミッション・ポリシーで求める人物像（本科）

- ・数学、理科の分野に興味がある者
- ・工学の分野に興味がある者
- ・実験・実習に自ら進んで取り組むことができる者
- ・将来、国際センスと人間性を備え、社会を支える技術者として活躍する意志を持つ者

学年	工学技術教育目標：技術の進歩・変動に柔軟に対応できる基礎力を有する技術者の育成		社会性・人間性教育目標：社会性や教養を身に付けた人間性豊かな学生の育成	
	目標	具体的内容	目標	具体的内容
1年	①学習方法の意識改革と実践 ②技術を学ぶ高専生としての自覚の確立	<ul style="list-style-type: none"> ① 授業に集中する習慣とテキストを自ら読む習慣を付ける ② 高専での学修に最も重要な好奇心・探求心を持って、自ら学ぶ自学自習（予習、復習）の習慣を付ける ③ 科目ごとの学習法を身に付ける（記憶が必要であると同時に反復復習の必要な科目、暗記ではなく基本的事項の理解が重要な科目） ④ 課題・レポート等に自力で取り組み、期限を厳守する ⑤ 文書や発表を通じ、自己を正しく表現する訓練を始める ⑥ 卒業後技術者として仕事をしていくためには、全ての科目が重要であることを認識する ⑦ 実験、実習を通して、実験機器などの取り扱い方法を学ぶ ⑧ もの作りの重要性を知る 	①高専生活への適応	<ul style="list-style-type: none"> ① 学校生活に慣れ、高専生としての生活リズム（学習、部活、余暇他）を確立し、高専生にふさわしい身なりと挨拶・言葉使い・礼儀・マナーを身に付ける ② 学校行事・クラブ活動への参加・寮生活を通して、協調性・連帯性への意識を高め、本校学生としての自覚を持つ ③ 基礎体力・持続力・集中力・忍耐力を身に付ける ④ 工場見学等を通して、社会での技術に目を向け、働くことの意味とすばらしさを考える ⑤ 清掃作業を通して、奉仕とボランティア精神の気持ちを育む ⑥ いろいろな教員の体験を聞くことによって、社会とのつながりを学習し、新聞その他のメディアを通じて社会の動向に関心を持つ
2年	①理論的な思考の訓練 ②一般科目と専門科目の関連の理解	<ul style="list-style-type: none"> ① 理解を深めるため、家庭学習などで考えながら自学自習をする習慣を付ける ② 文字式の計算と文字式により表現される専門科目の基本原理解に慣れる ③ 実験・実習を通じて、理論と実際の両面から専門を理解する ④ 学習時間の配分を計画し、専門科目と一般科目のバランスの取れた学習法を確立する ⑤ 英語によるコミュニケーションの基礎を習得する 	②自己を客観的に認識する訓練	<ul style="list-style-type: none"> ① 自立心と向上心を養う ② 自然や環境・社会について考え、社会と自分との関わりを自覚する ③ 工場見学等を通して、社会での技術やその役割に目を向ける ④ 自分の人生・将来の展望に関心を向け、今どうすべきかを考える ⑤ 進路と学習の関わりを展望し、主体的な学習を確立する ⑥ 技術者として働くことと人生や社会との関わりを考える
3年	①理論的な思考の定着 ②一般教養の習得	<ul style="list-style-type: none"> ① 基本的問題を複数の観点から解く練習により、柔軟な思考を身に付ける ② 式の意味を理解し、論理展開する練習を行う ③ 学習時間を十分確保し、多量の演習問題に対応できるようにする ④ 準備からレポート作成までの一貫した実験・実習を通じて、もの作りの基礎を理解していく ⑤ 社会的に通用する人格を形成するため、人文教育等を通して社会問題や歴史、文化を考える ⑥ コミュニケーション能力の育成に努める ⑦ 情報収集能力等の情報リテラシーを習得する 	③自分の適性と人生設計（仕事・社会・家庭との関連）	<ul style="list-style-type: none"> ① 将来、自分はどういう仕事への適性があるかを考える ② 自分の進路とその実現方法を考える（企業見学や社会人との交流を通じて、自己の進路や目標を模索する） ③ 歴史や文化などの多様性を理解し、社会への関心を高めるとともに、異文化を受容できる力を身に付ける ④ 技術と自然や環境、技術者として働くことと人生や社会との関わりを考える ⑤ 本校の中堅となるべく、積極的なコミュニケーションが取れるように努める ⑥ 社会人として、技術者として必要な素養、一般常識や礼儀、マナーについて考える ⑦ 集団の中で自己のあり方を考え、先輩後輩等、広範な人間関係を形成する
4年	系統的な知識・技術の融合と論理的構成の定着	<ul style="list-style-type: none"> ① 専門科目の基本理論を修得し、十分に活用できるようにする ② 理論を基礎に実験・実習等に取り組み、技術者に必要な工学的素養を育成する ③ 専門科目へ自発的に取り組み、自己学習能力を向上させる ④ 一般科目や専門基礎科目とのつながりを踏まえて専門科目を学習する ⑤ 歴史・文化・社会などについて理解する ⑥ コミュニケーション能力の発展に努める ⑦ インターンシップ等を通して、企業のもの作りや実務を体験する ⑧ 現代社会の様々な問題と技術との関わりを考える 	④将来の目標設定・進路選択 ⑤リーダーシップの必要性の自覚	<ul style="list-style-type: none"> ① 学内・学外研修での企業や社会人との交流を通じて、自己の進路や目標を決定する ② 自身の希望する進路の実現に向けて、必要な能力等を身に付ける ③ 現代社会の中で問題と自分の専門とする工学技術関係を通じて、技術者としての倫理について考える ④ 技術者としての自己の役割を考える ⑤ 社会人として、技術者として必要な素養、常識や礼儀、マナーを身に付ける ⑥ 学生会、寮生会、クラブのリーダーとしての活動を通じて、企画力・指導力等を養う
5年	総合的な理解と応用力の養成および論理的に推論する柔軟な思考の訓練	<ul style="list-style-type: none"> ① 卒業研究・実験を通して各事象を総合的な論理体系から解析し、分析する能力を身に付ける ② 理論を基礎に実験・実習等に取り組み、技術者に必要な工学的素養を育成する ③ 基本理論に基づいた応用力を養う ④ 卒業研究等を通して創造性や発想力を養う ⑤ 卒業研究等を通して情報の収集、整理、伝達やプレゼンテーション等のコミュニケーション能力の育成に努める 	⑥集団・社会の中での自分の役割認識	<ul style="list-style-type: none"> ① これからの技術者像について考える ② 社会問題や歴史、文化について考える ③ 最終学年として学校行事や学生会活動等でリーダーシップが取れる ④ 社会への貢献に関心を持つ

アドミッション・ポリシーで求める人物像（専攻科）

- ・高等専門学校準学士課程等における基礎的な専門知識の確立を図り、さらにその専門知識を深めようとする意欲がある者
- ・いろいろな分野の工学知識を学び、広い視野からの問題解決能力を身に付けようとする向上心を持つ者

学年	目標	具体的内容	目標	具体的内容
専攻科1年・2年	①問題発見・問題解決能力の育成 ②自主的な特別研究への取り組み ③専門以外の広範な工学基礎知識の獲得と専門科目への適用	<ul style="list-style-type: none"> ① 専攻分野の実践的技術者として必要な応用力を身に付ける ② 他専門の考え方や手法を幅広く学び、複合的観点からものごとを考える力を身に付ける ③ 幅広い専門分野に関連する実験・実習などに取り組み、応用力を深める ④ 社会や自然に及ぼす技術の影響を見極めるとともに、実践の場において技術者が直面する様々な問題について理解する ⑤ 知的な好奇心と探求心を持って自ら学び、独創性の形成を図る ⑥ 特別研究を通して、課題発見・問題解決能力の修得を図る ⑦ 現代の技術動向の認識とその将来性を展望する習慣を付ける ⑧ 特別研究を自らの課題として取り組み、その成果をまとめて発表することにより、コミュニケーション力を付けるとともに、実践的技術者として研究・開発を進める上で必要となる能力の定着を図る ⑨ 英語演習や外国語文献の講読などを通じて、国際的なコミュニケーション基礎力を養う ⑩ [学士]の学位を取得する 	①技術者倫理の理解と技術者像の形成 ②協調性・リーダーシップの確立	<ul style="list-style-type: none"> ① 社会の動向に目を向ける習慣を付ける ② 技術者が直面する様々な社会的問題について学び、人間社会における技術者の位置づけを理解し、社会にいかに関与できるかを考える ③ 広い教養と柔軟な思考で、公正・公平な判断ができる能力を養う ④ 特別研究において、卒業研究生の指導を通して、問題解決におけるリーダーシップや協調性の役割の理解と実践を行う